

財務諸表のなぜ？
にお答えします！

令和 3 年度決算版

荒川区の財務諸表

Q & A

& “ワンポイント”用語解説

はじめに

荒川区は、目指すべき将来像「幸福実感都市あらかわ」を掲げ、区民の皆さんが、ずっとこの街で幸せを実感していただけるよう様々な事業を計画的に行うとともに、新型コロナウイルス感染症対策や災害対策等のような不測の事態への対応も必要となります。

こうした事業を行っていくためには、限られた財源を重点的かつ効果的に投入するとともに、費用対効果を見極め、徹底した事業の見直しによる行財政運営のさらなる効率化・適正化が必要です。

このため、区では、これまで以上に健全で持続可能な財政運営が行えるよう、平成28年度から本格的な複式簿記を導入し、新公会計制度による財務諸表を作成しています。

新型コロナウイルス感染症による影響が長引く中、令和3年度は、前年度に引き続き、区民の皆様の命と安全・安心を守ることを最優先に、必要な対策について迅速かつ着実に実行しました。コロナ禍における厳しい財政状況の中にあっても、万全なワクチン接種体制の整備や入院患者用病床の確保をはじめ、区内医療機関・介護・福祉施設・子ども関連施設、中小企業者に対する各種支援など、各分野における様々な新型コロナウイルス感染症対策を実施し、区として最大限取り組んできたところです。一方で、荒川遊園のリニューアルやふれあい館の整備など、区の魅力を高め、区民の皆様の明るさを取り戻すための政策にも注力し、子育てや教育環境の整備・まちづくりなど、幅広い分野の課題解決にも確実に取り組んでまいりました。

本書は、このような取組後の区の資産状況等をQ & A形式でまとめています。包括年次財務報告書を読むにあたって、『あら坊・あらみいと一緒にみる荒川区の財務諸表』とあわせて、ぜひこのパンフレットを参考にしてください。

目次

Q 財務諸表は何のために作るの？	1 頁
----------------------------	-----

Q 区の財務状況はどのような状況ですか？ . .	2 頁
--------------------------	-----

Q 財務諸表を分析することでどんなことがわかり、どのように役立つの？	7 頁
--	-----

Q 財務諸表を見て財務状況が一目でわかるポイントってあるの？	13 頁
--	------

※ 各問には、関連する包括年次財務報告書（財務報告書）の参照頁を記載しています。

用語解説

のマークは『“ワンポイント” 用語解説』の対象語句になります。

本書の計数については、各項目とも表示単位未満を四捨五入しているため、表中の増減額及び合計額等が一致しない場合があります。



財務諸表は何のために作るの？

財務報告書
2・3頁参照

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策の実施をはじめ、子育てや教育環境の整備・街づくりなど、幅広い分野の課題解決に確実に取り組みました。その結果、一般会計の決算額は歳入1,134億円、歳出1,085億円で、差引50億円の黒字となり、これを翌年度に繰越しました。

このように、今後も区政の様々な課題解決や新たな行政需要に確実に応えていくためには、私たちが健康診断を受けるのと同じで、定期的に財務状況をチェックし、現在の区の資産や負債等をきちんと把握することが大切です。

財務諸表は、区の財務状況をチェックしたり、計画的にお金を使っていくことなどのために活用されています。



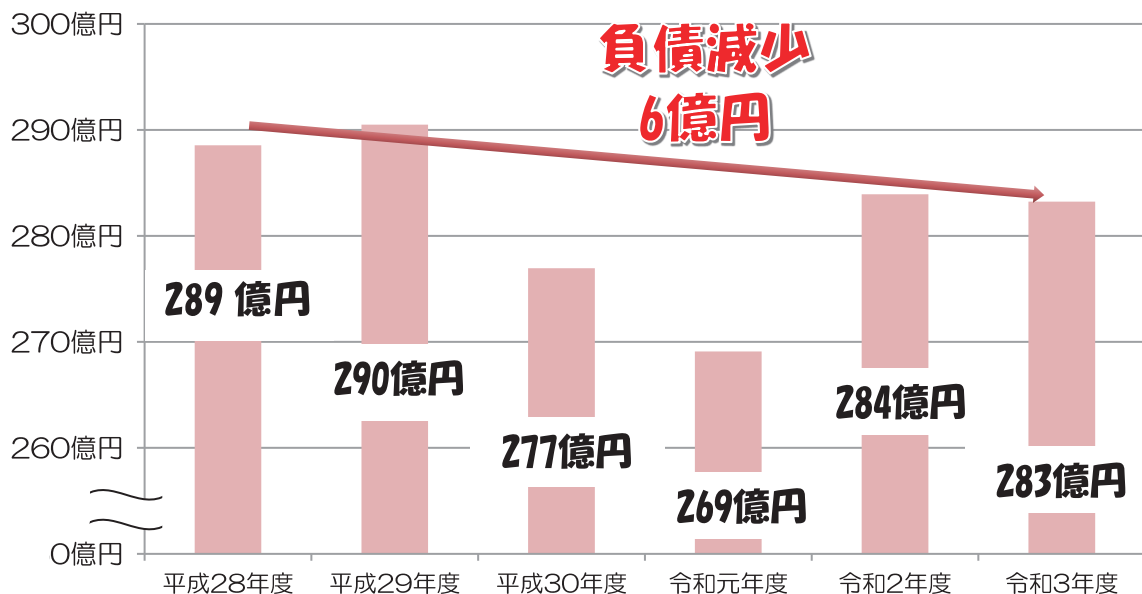
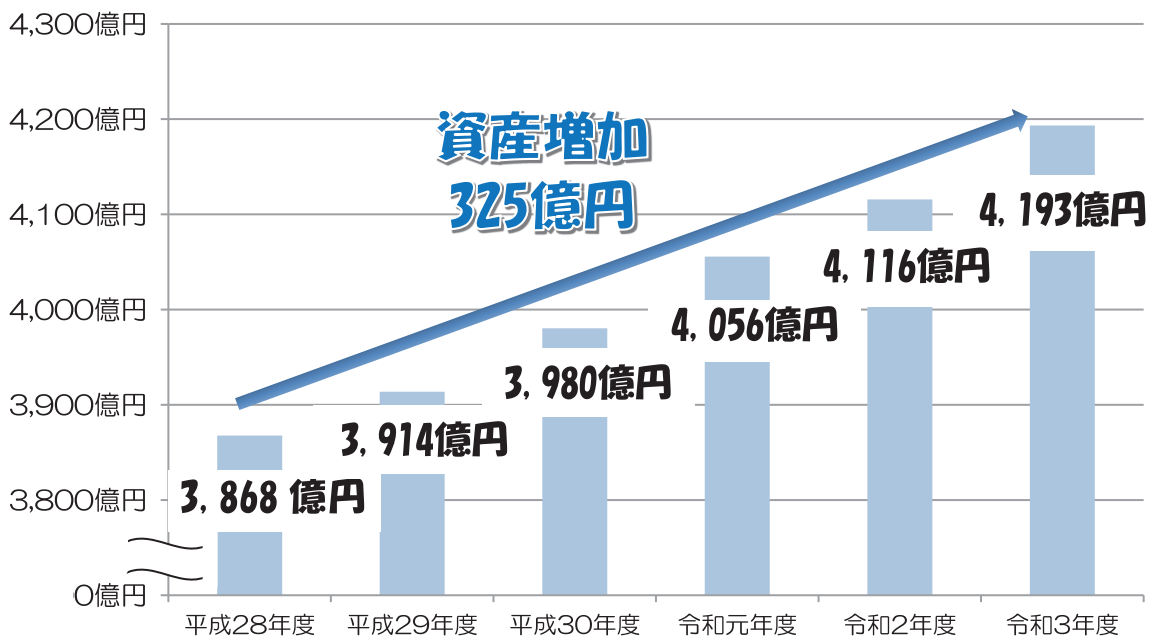
「財務諸表で財務状況を定期的にチェック」



区の財務状況はどのような状況ですか？

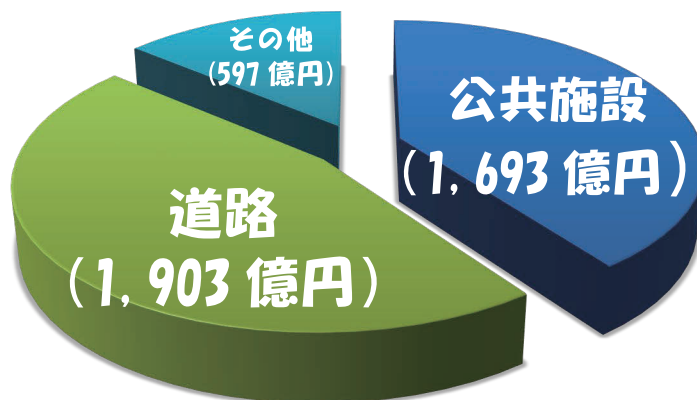
財務報告書
8・9頁参照
用語解説

平成28年度以降、令和3年度までに区の資産は325億円増え
4,193億円（8.4%増）、負債は6億円減り283億円（2.1%減）
となっています。



では、令和3年度末の資産と負債の内訳を見てみましょう。

まず、資産では、道路が1,903億円、学校やふれあい館、公園などの公共施設が1,693億円で、合計すると3,596億円となり約9割を占めています。しかし、**減価償却**により、資産の価値は年々減少していきます。



“ワンポイント” 用語解説

減価償却について

◆減価償却とは◆

建物などの固定資産は、使用や時間の経過等に伴って、老朽化や損耗などが進んで、価値が減少していきます。これを減価償却といい、1年間の建物等の価値の減少分を費用として示したものが減価償却費です。

区の公共施設のうち建物と工作物の資産価値は、取得価格の1,415億円に対して640億円となっており、毎年度の減価償却の累計額を差し引くと約半分程度になります。



その他の資産５９７億円のうち最も多いのが区の貯金にあたる

基金

で、４３４億円あります。

基金には、経済情勢の変動などによる収入不足等に備えるための基金、将来の建替え等に備えて小中学校といった義務教育施設を整備するための基金、その他に、公共施設等整備基金などがあります。

“ワンポイント” 用語解説

基金について

◆基金（積立金）とは◆

基金とは、自治体が特定の目的のために、条例の定めに基づいて積み立てているお金で、区の貯金にあたるものになります。

令和３年度末現在の基金の内訳は次のとおりです。

◆基金の内訳◆

基金目的別内訳



基金は、目的に応じて色々な種類があります。

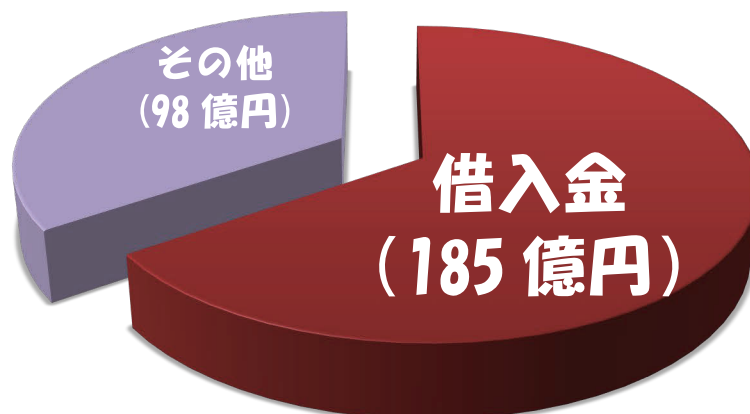
・**財政調整基金**…自治体における、年度間の財源を調整するための基金です。

・**特定目的基金**（例：義務教育施設整備基金、公共施設等整備基金等）…大規模な公共施設整備など、将来の財政需要に備え、特定目的のために積み立てる基金です。

・**減債基金**（例：特別区債等管理基金）…公債費の償還を計画的に行うための基金です。

次に、負債では、**借入金** が185億円で約7割を占めています。

主な借入の内訳は教育施設整備費に57億円、文化施設建設・大規模改修費に46億円、ふれあい館建設費に30億円等となっています。



その他の負債98億円は、将来の支払いに備えるための人件費関係の各種引当金のほか、建物等を借り上げることにより発生したリース債務などです。



◆ 新たに開館したふれあい館 ◆

(東尾久本町通りふれあい館・ひぐらしふれあい館)

借入金について

◆借入金とは◆

借入金とは区が借り入れているお金で、特別区債といいます。

区がお金を借りる場合は、(*)法律によって公共施設の整備（建替え、大規模修繕等）などで一時的に多額な資金が必要などときなどに限られており、借りたお金は、長いものでは20年以上かけて返済しています。

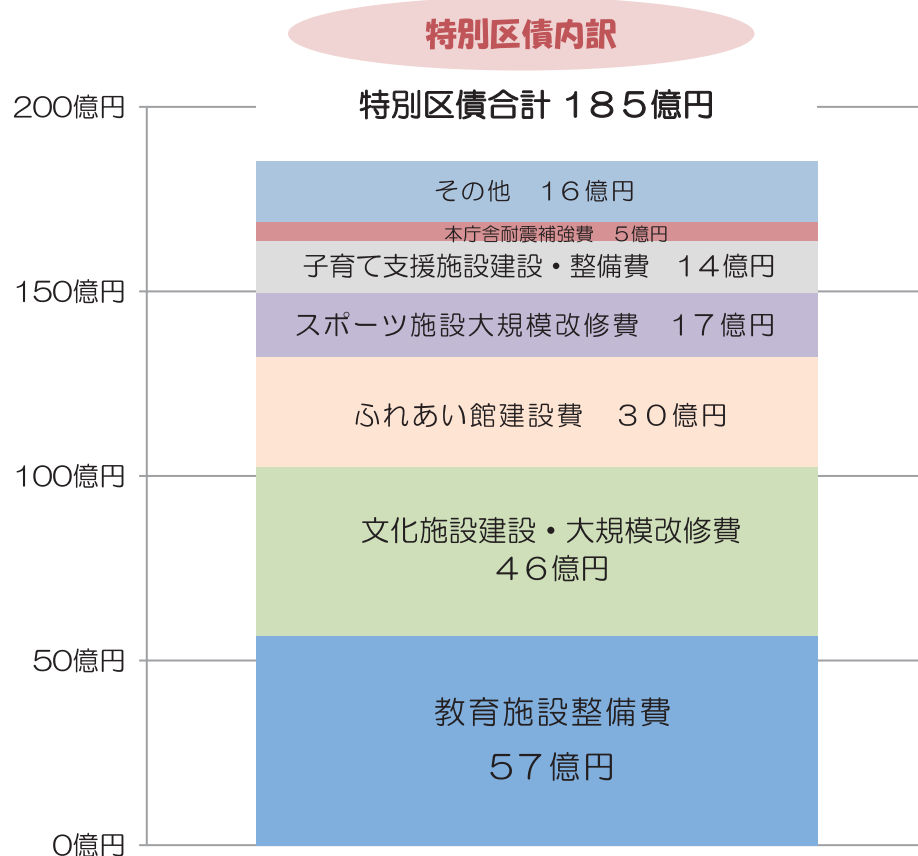
これは、公共施設が世代を超えて、多くの方々に長い間ご利用いただきますので、将来の方々にも幅広くご負担していただくためです。

特別区債の内訳は次のとおりです。

令和3年度の特別区債の合計額は185億円となっています。主な借入先は、国、東京都、金融機関等です。

(*)地方財政法第5条

◆特別区債の内訳◆





財務諸表を分析することでどんなことがわかり、どのように役立つの？

財務報告書
8・9・12・13・
21・23 頁参照

財務諸表を分析することにより、次のようなことがわかります。

「将来の財政負担の『見える化』の実現」

区では、これまで現金の収支のみに基づいて決算を行ってきましたが、この方法では将来の財政負担を把握することができませんでした。

財務諸表の作成により、公共施設等の老朽度を金額に置き換えて把握し、今後の施設整備に備えたり、退職手当等の支払準備を行うなど、将来、区としてどのくらい財政負担が生じるのかの『見える化』が可能になります。

“将来の見える化”



『計画的な施設整備の実行』

区の施設は昭和の高度経済成長期に集中的に整備されたものが多く、同時期に老朽化を迎えるため、一時期に施設の更新（大規模改修や建替え等）に多額の費用が集中することが予測されます。

区では、効果的な修繕により施設を長寿命化するとともに、計画的な施設整備により費用の平準化を図り、基金の積立てや起債の有効活用によって、施設の更新に取り組んでいきます。



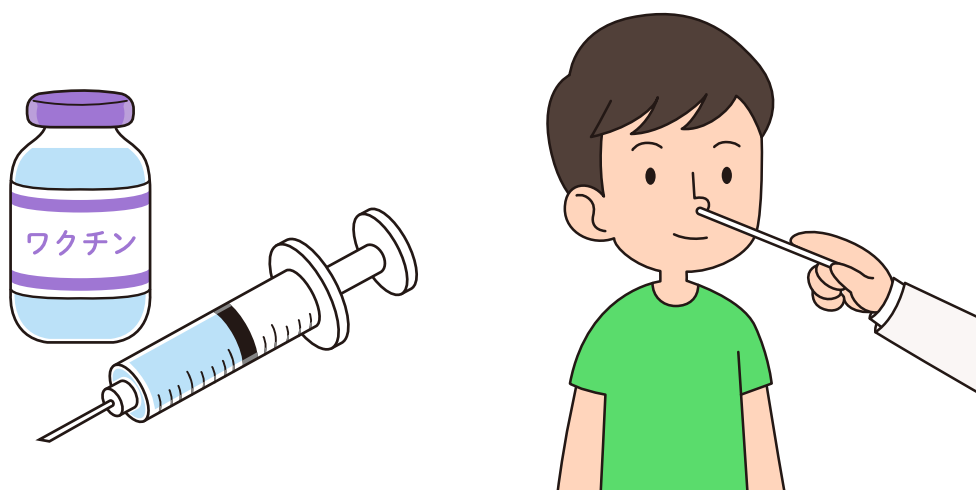
「緊急性の高い新たな行政需要に対応」

区民に対する新型コロナウイルス感染症対策として、ワクチン接種やPCR検査等に加え、区独自の対策を積極的に実施しました。この感染症対策に要した令和3年度の行政費用は、48億7,938万円(*)でした。

その際に、国や都の交付金、補助金等を最大限に活用し、区の一般財源は4億7千万円に抑え、健全な財政運営の維持に努めました。

* 事務事業分析シート「新型コロナウイルス感染症対策事業費」（令和3年度決算）より

区では、こうした感染症対策や災害対策といった緊急性の高い行政需要に対し、今後も財務諸表により財務状況をチェックし、財源を確保した上で、区民の安全と安心を守ることを最優先とし、しっかりと対応していきます。



「節電などの取組により行政費用を節減」

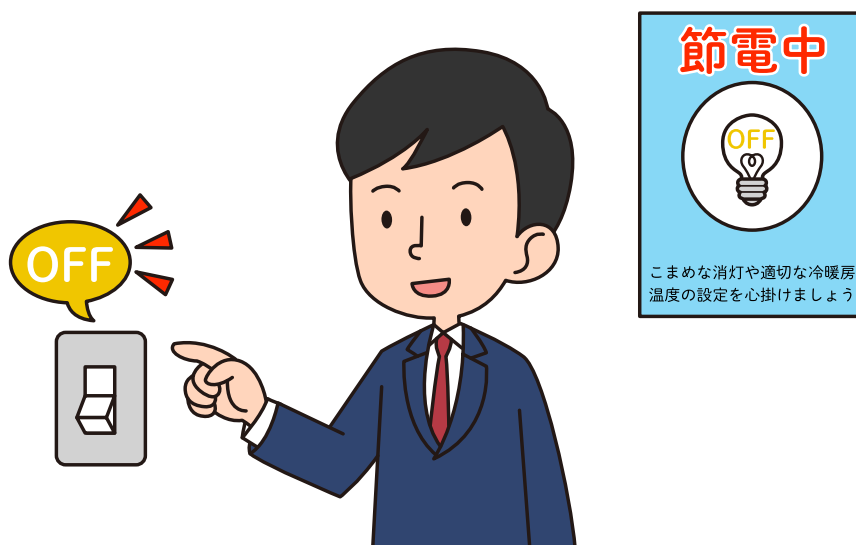
区では、無駄な費用を省き、限りある財源を有効に活用できるよう、取り組んでいます。

令和３年度の行政費用のうち、区の支出した光熱水費は９億２，６６６万円でした。（＊）平成２５年度の光熱水費９億７，１１７万円に比べ、額にして４，４５１万円、率にして４．６％減少しています。

区は、平成２５年度から令和３年度末に至るまでに、公共施設の整備により、全体の延床面積が約３９，０００㎡増えましたが、こまめな節電、適正な温度管理、照明のＬＥＤ化等の取り組みにより費用の節減につなげています。

区は、今後も節電等を実践し無駄な費用を省く取り組みを継続していきます。

＊荒川区役所が率先して取り組む省エネ、省資源等の計画である「荒川区役所エコアクションプラン」で平成２５年度を基準年度に設定しているため、令和３年度の光熱水費との比較対象としています。



「放置自転車を無くすことで撤去費用を軽減」

放置自転車撤去にかかる事業として、放置防止のための啓発業務などを含めると 1 億 2,007 万円の行政費用(*)がかかっています。

放置自転車が最も多かった昭和 59 年度には、1 日当たりの放置台数は 6,848 台ありましたが、その後、自転車駐車場や自転車置場の整備、各種啓発活動により、令和 3 年度には 425 台にまで減少することができました。それでも 1 億 2 千万円もの税金が放置自転車対策のために使われている現状は大変もったいないことですので、今後も駅前等への自転車の放置禁止にご協力をお願いします。



* 事務事業分析シート「放置自転車撤去」（令和 3 年度決算）より

番外編



あらかわ遊園は、約3年4か月の改修工事期間と総額約40億円をかけて、令和4年4月にリニューアルオープンしました。

高さ約40メートルに大きくなった観覧車や、新アトラクション「ウォーターシューティングライド」など、楽しい乗り物がたくさんあります。

また、どうぶつ広場には、アルパカなど新たな動物が仲間入りしました。

このあらかわ遊園の運営については、入園料やのりもの券などの収入により、経費をほぼ賄うことができるよう、取り組んでいます。

リニューアルしたあらかわ遊園にぜひお越しください。事前予約制の場合がございますので、詳しくはあらかわ遊園のホームページをご覧ください。



待ってるよ～！



財務諸表を見て財務状況が一目でわかるポイントってあるの？

財務報告書
8・9・20頁
参照

正味財産がポイントです。

正味財産は民間企業という自己資本にあたります。

貸借対照表においては、区が住民サービスを提供するために保有している財産（資産）と、その資産をどのような財源（負債・正味財産）で賄ったかを示すものであり、正味財産は資産の部合計から負債の部合計を差し引くことにより算出されます。

一般的には、資産が増加することは、区の資産が増えたことで財務状況が良くなったように見えますが、例えば、借入金により負債がそれ以上に増えてしまったら、区の自己資本は減り、財務状況は悪化したこととなります。

そのため、財務状況を見るときは、資産や負債の増減だけではなく、区の自己資本である正味財産の状況と併せて、お金を借りすぎていないかなど財務運営上のバランスをチェックすることが大事です。

令和3年度の正味財産の総資産に占める割合は93.2%と高い自己資本比率となっており、健全な財政状況となっています。

令和4年10月発行

登録番号（04）0051

令和3年度決算版 荒川区の財務諸表Q & A

編集・発行 荒川区会計管理部会計管理課
〒116-8501 東京都荒川区荒川2-2-3
TEL 03-3802-3111（代表） 内線 3221